



じぶんの町を良くするしくみ。 ～赤い羽根共同募金運動が始まりました！～



10 月 1 日から 12 月 31 日まで赤い羽根共同募金及び年末たすけあい募金が実施されます。平成 27 年度の募金実績額は 59,315,280 円となりました。今年度も戸別募金の他、街頭募金、法人募金などさまざまな募金活動が展開されています。集まった募金は相模原市内の地域福祉活動に使えるほか、神奈川県内の福祉施設の整備等に活用されています。

●平成 27 年度募金の活用状況

○社会福祉施設の整備や福祉サービスの実施などのために：29,802,730 円

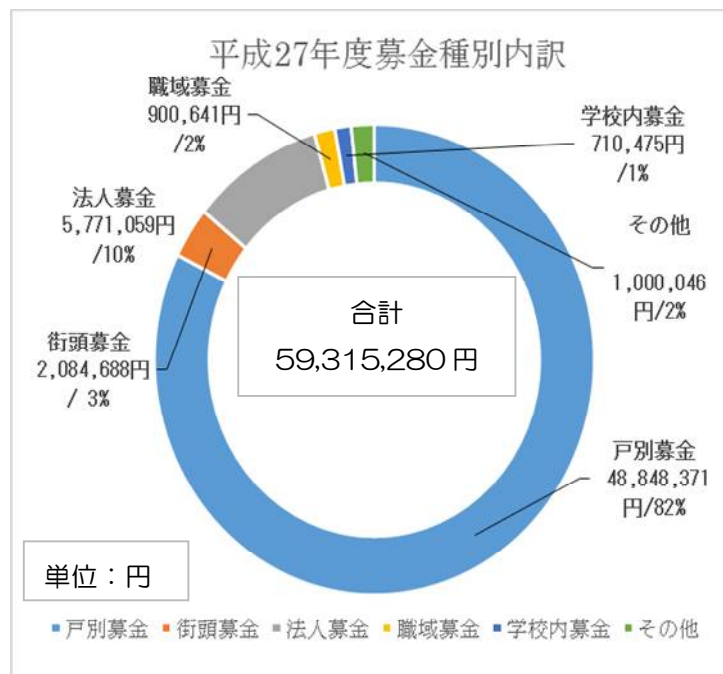
市内の社会福祉施設や団体の移送用の自動車の購入、施設の補修等に活用。

○生活にお困りの方や地域福祉活動のために：17,305,792 円

生活困窮者を支援する活動への助成「みらいチャレンジ応援プログラム」や食料品等の給付に活用。

○地区社会福祉協議会やボランティア活動の促進、障がい者支援のために：12,206,758 円

市内 22 地区社会福祉協議会への活動助成やボランティアグループへの活動助成に活用。



<10月1日(土)より実施している街頭募金では、地区社会福祉協議会や民生委員、自治会の方々を始め、地域のたくさんの方にご協力をいただいています。>



<10月8日(土)に開催された女子サッカー「赤い羽根共同募金スペシャルマッチ」では募金コーナーを設置。この日、なでしこリーグ2部優勝と1部昇格を決めたノジマステラ神奈川相模原の選手にもご協力いただき129,239円が集まりました。>

<主たる相談者と個別支援計画作成>

本会では地域住民の生活課題解決に向け、コミュニティソーシャルワーカー（以下 CSW）を城山、田名、相武台に配置しています。

前年度の平成 27 年度 4 月から平成 28 年度 8 月までの相談者状況は右表の通りです。件数が多い相談は「経済困難」、「介護」、「ひきこもり」、「近隣トラブル」となっています。この中でも「経済困難」、「介護」については、行政機関や支援機関を紹介し継続的な支援に結びつくケースが多く、また、個別支援計画作成についてはそれぞれ 1 件となっています。

一方、「ひきこもり」や「近隣トラブル」については既存のサービスや制度では課題の解決が困難なケースが多く、制度の狭間や潜在的なニーズに対する新たな支援の仕組みづくりが求められています。これらの困難なケースに対しては、支援対象者に寄り添いながら、関係機関とのネットワークを形成し、支援方法を検討していきます。

※個別支援計画とは・・・一人ひとりが抱える個別の課題を把握し、解決に向けた支援計画を立てることです

	相談件数	個別支援計画作成
認知症	4	1
経済困難	19	1
金銭管理	7	1
家事困難等	8	0
介護	15	1
就労	3	0
住居（ゴミ）	4	3
住居（ゴミ以外）	5	3
ひきこもり	20	4
出産・子育て	5	0
虐待・DV	4	0
精神的不安	11	3
孤立	3	0
近隣トラブル	20	3
偏見・無理解	1	0
社会資源不足	7	1
その他	20	1
合計	156	22

第 47 回社会福祉大会市民みんないいひとの日

第 47 回社会福祉大会を 11 月 5 日（土）午後 1 時 30 分～3 時 45 分に開催します。第 1 部はボランティア活動や寄付などで社会福祉に功労があった方々への表彰を行う、「表彰と感謝のつどい」です。第 2 部はお楽しみコンサートとして「相模原市民混声合唱団」（写真下）の合唱を予定しています。

相模原市民混声合唱団は日本や海外の古典的な合唱曲から現代のポピュラーな作品まで幅広く演奏しています。定期演奏会のほか、年末に開催される市民合同演奏会、公民館、デイサービスセンターなどで活動しています。

是非みなさままでお誘いあわせの上、ご来場ください。



ちょっといい話

「生活資金一時貸付の相談から」

生活資金一時貸付事業は、一時的に生活に困った世帯に食費相当の生活費を貸付する本会独自の事業です。

先日、10 年以上前の借受者 A さんの償還が完了しました。貸付額は 4 万円。厳しい生活が続く中、3 年前の督促での訪問を契機に、A さんは、毎月事務所を訪れ、千円ずつ償還を積み重ねてくれました。担当相談員も健康や人間関係の悩みなどの相談にも応じながら、償還を支援してきました。償還が完了した最後の日、A さんから「相談員さんと会うのも終わりだと思うと寂しい。でも支えてくれたおかげで最後まで頑張れた」との言葉をいただきました。困難な中でも償還に取り組んだ A さんの姿を忘れずに、これからも一人ひとりに丁寧に向き合い支援していきたいと思っています。